

V. 資料編

1. 市民アンケート結果・分析

(1) 市民満足度調査

ア) 目的

これまでの市の取り組み（施策）に対する「満足度」を把握するために実施

イ) 調査対象と回答状況

◇調査対象 20歳以上の市民3,000人

(平成27年4月1日現在の住民基本台帳から、市内10地区の人口構成率と、年齢、性別の構成率を考慮して無作為抽出)

◇回答数 1,323人

◇回答率 44.1%

ウ) 調査方法

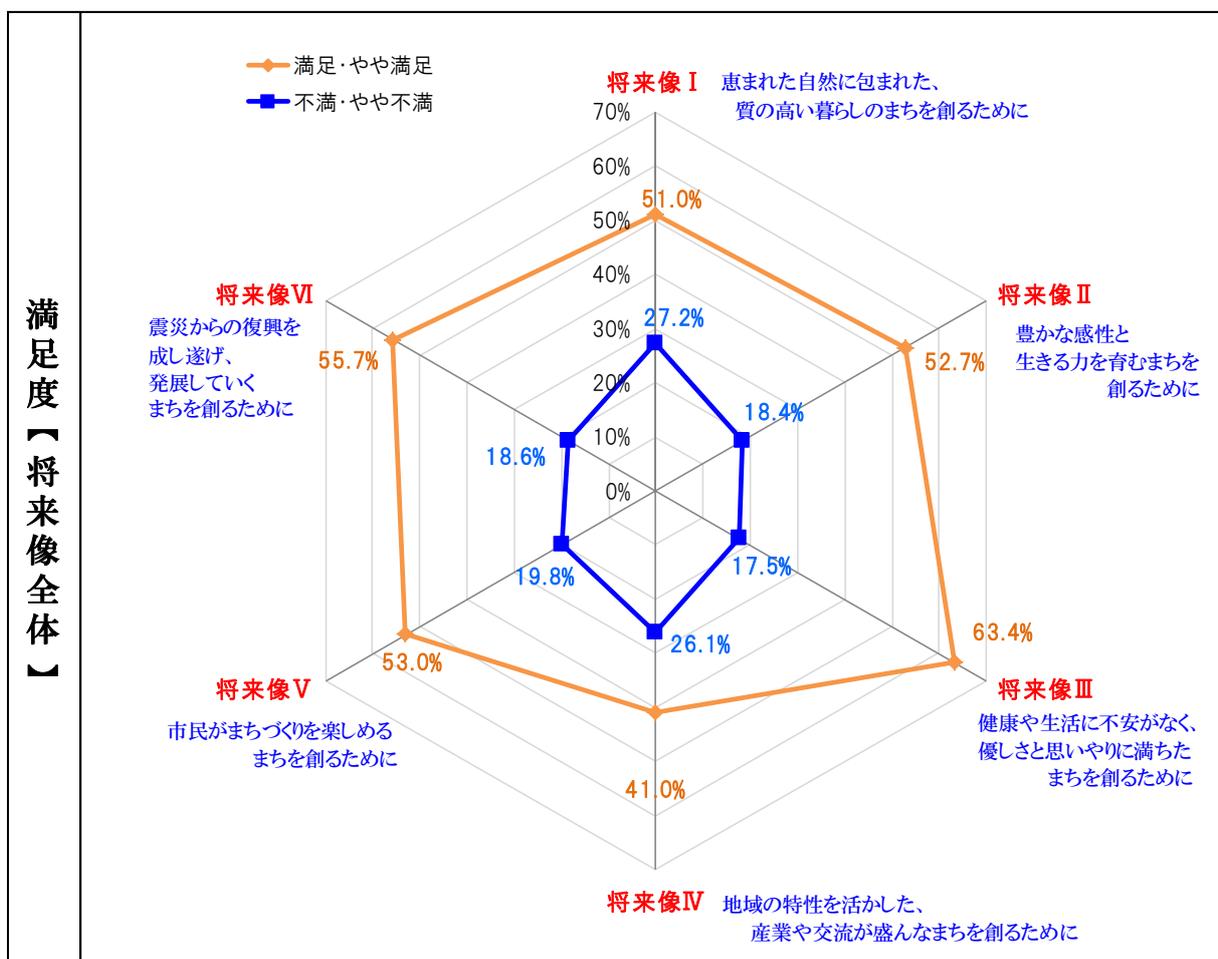
◇配布 行政区長による配布

◇回収 返信用封筒による返信（郵便）

エ) 実施時期

平成27年4月16日～5月14日

オ) 調査結果の概要



将 来 像	満足・やや満足	不満・やや不満	わからない
I 恵まれた自然に包まれた、質の高い暮らしのまちを創るために	51.0%	27.2%	19.8%
II 豊かな感性と生きる力を育むまちを創るために	52.7%	18.4%	26.8%
III 健康や生活に不安がなく、優しさと思いやりに満ちたまちを創るために	63.4%	17.5%	16.6%
IV 地域の特性を活かした、産業や交流が盛んなまちを創るために	41.0%	26.1%	30.6%
V 市民がまちづくりを楽しめるまちを創るために	53.0%	19.8%	25.0%
VI 震災からの復興を成し遂げ、発展していくまちを創るために	55.7%	18.6%	23.1%

【考 察】

「満足・やや満足」が最も高かったのは、「Ⅲ 健康や生活に不安がなく、優しさと思いやりに満ちたまちを創るために」の63.4%、次いで「Ⅵ 震災からの復興を成し遂げ、発展していくまちを創るために」の55.7%、「Ⅴ 市民がまちづくりを楽しめるまちを創るために」の53.0%、「Ⅱ 豊かな感性と生きる力を育むまちを創るために」の52.7%、「Ⅰ 恵まれた自然に包まれた、質の高い暮らしのまちを創るために」の51.0%と続き、最も低かったのは、「Ⅳ 地域の特性を活かした、産業や交流が盛んなまちを創るために」の41.0%となっている。

この結果は、それぞれの施策の成果が反映されており、最も満足度が低かった「Ⅳ 地域の特性を活かした、産業や交流が盛んなまちを創るために」以外の5つの将来像において5割を超える満足度となった。

傾向としては、子育てや健康、福祉に関する施策である将来像Ⅲは、市民生活に最も身近なため実感しやすく、「満足・やや満足」が多いが、将来像Ⅳは、「わからない」の回答が30.6%と最も多いことから、産業振興策に対する市民の認知度が低く、そのことが満足度の低さにつながっていると考えられる。

<p>年代別満足度【将来像Ⅰ】</p>	<p>○ 満足・やや満足 ● 不満・やや不満</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年代</th> <th>満足・やや満足 (%)</th> <th>不満・やや不満 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>20歳代</td> <td>49.1%</td> <td>25.0%</td> </tr> <tr> <td>30歳代</td> <td>46.4%</td> <td>29.3%</td> </tr> <tr> <td>40歳代</td> <td>49.9%</td> <td>31.0%</td> </tr> <tr> <td>50歳代</td> <td>47.5%</td> <td>32.2%</td> </tr> <tr> <td>60歳代</td> <td>54.3%</td> <td>27.1%</td> </tr> <tr> <td>70歳代</td> <td>54.3%</td> <td>21.7%</td> </tr> </tbody> </table>	年代	満足・やや満足 (%)	不満・やや不満 (%)	20歳代	49.1%	25.0%	30歳代	46.4%	29.3%	40歳代	49.9%	31.0%	50歳代	47.5%	32.2%	60歳代	54.3%	27.1%	70歳代	54.3%	21.7%	<p>「将来像Ⅰ 恵まれた自然に包まれた、質の高い暮らしのまちを創るために」では、60歳代の満足度が54.3%と最も高く、30歳代の46.4%が最も低い。</p> <p>「不満・やや不満」は、50歳代の32.2%が最も高く、次いで40歳代の31.0%となっており、世帯主世代の40歳代、50歳代の不満が高い結果となっている。</p>
年代	満足・やや満足 (%)	不満・やや不満 (%)																					
20歳代	49.1%	25.0%																					
30歳代	46.4%	29.3%																					
40歳代	49.9%	31.0%																					
50歳代	47.5%	32.2%																					
60歳代	54.3%	27.1%																					
70歳代	54.3%	21.7%																					
<p>年代別満足度【将来像Ⅱ】</p>	<p>○ 満足・やや満足 ● 不満・やや不満</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年代</th> <th>満足・やや満足 (%)</th> <th>不満・やや不満 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>20歳代</td> <td>50.0%</td> <td>17.4%</td> </tr> <tr> <td>30歳代</td> <td>49.3%</td> <td>17.8%</td> </tr> <tr> <td>40歳代</td> <td>53.0%</td> <td>22.1%</td> </tr> <tr> <td>50歳代</td> <td>48.6%</td> <td>23.1%</td> </tr> <tr> <td>60歳代</td> <td>55.4%</td> <td>18.1%</td> </tr> <tr> <td>70歳代</td> <td>55.9%</td> <td>14.1%</td> </tr> </tbody> </table>	年代	満足・やや満足 (%)	不満・やや不満 (%)	20歳代	50.0%	17.4%	30歳代	49.3%	17.8%	40歳代	53.0%	22.1%	50歳代	48.6%	23.1%	60歳代	55.4%	18.1%	70歳代	55.9%	14.1%	<p>「将来像Ⅱ 豊かな感性と生きる力を育むまちを創るために」では、70歳代の満足度が55.9%と最も高く、他の世代でもほぼ50%前後の満足度となっている。</p> <p>「不満・やや不満」は、50歳代の23.1%が最も高く、満足度も48.6%と50歳代が最も低い結果となっている。</p>
年代	満足・やや満足 (%)	不満・やや不満 (%)																					
20歳代	50.0%	17.4%																					
30歳代	49.3%	17.8%																					
40歳代	53.0%	22.1%																					
50歳代	48.6%	23.1%																					
60歳代	55.4%	18.1%																					
70歳代	55.9%	14.1%																					
<p>年代別満足度【将来像Ⅲ】</p>	<p>○ 満足・やや満足 ● 不満・やや不満</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年代</th> <th>満足・やや満足 (%)</th> <th>不満・やや不満 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>20歳代</td> <td>59.6%</td> <td>16.2%</td> </tr> <tr> <td>30歳代</td> <td>60.3%</td> <td>16.3%</td> </tr> <tr> <td>40歳代</td> <td>59.8%</td> <td>20.6%</td> </tr> <tr> <td>50歳代</td> <td>61.2%</td> <td>20.6%</td> </tr> <tr> <td>60歳代</td> <td>67.4%</td> <td>18.1%</td> </tr> <tr> <td>70歳代</td> <td>65.8%</td> <td>13.7%</td> </tr> </tbody> </table>	年代	満足・やや満足 (%)	不満・やや不満 (%)	20歳代	59.6%	16.2%	30歳代	60.3%	16.3%	40歳代	59.8%	20.6%	50歳代	61.2%	20.6%	60歳代	67.4%	18.1%	70歳代	65.8%	13.7%	<p>「将来像Ⅲ 健康や生活に不安がなく、優しさと思いやりに満ちたまちを創るために」は、全体的に満足度が高く、全ての世代で60%前後となっており、その中でも最も高いのは60歳代の67.4%である。</p> <p>「不満・やや不満」では、40歳及び50歳代の20.6%が最も高い結果となつてはいるが、総体的に「不満・やや不満」は低い。</p>
年代	満足・やや満足 (%)	不満・やや不満 (%)																					
20歳代	59.6%	16.2%																					
30歳代	60.3%	16.3%																					
40歳代	59.8%	20.6%																					
50歳代	61.2%	20.6%																					
60歳代	67.4%	18.1%																					
70歳代	65.8%	13.7%																					

<p>年代別満足度【将来像Ⅳ】</p>	<p>○ 満足・やや満足 ● 不満・やや不満</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年代</th> <th>満足・やや満足 (%)</th> <th>不満・やや不満 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>20歳代</td> <td>39.6%</td> <td>25.4%</td> </tr> <tr> <td>30歳代</td> <td>41.9%</td> <td>23.9%</td> </tr> <tr> <td>40歳代</td> <td>40.7%</td> <td>30.9%</td> </tr> <tr> <td>50歳代</td> <td>36.5%</td> <td>31.9%</td> </tr> <tr> <td>60歳代</td> <td>42.7%</td> <td>27.1%</td> </tr> <tr> <td>70歳代</td> <td>42.8%</td> <td>18.8%</td> </tr> </tbody> </table>	年代	満足・やや満足 (%)	不満・やや不満 (%)	20歳代	39.6%	25.4%	30歳代	41.9%	23.9%	40歳代	40.7%	30.9%	50歳代	36.5%	31.9%	60歳代	42.7%	27.1%	70歳代	42.8%	18.8%	<p>「将来像Ⅳ 地域の特性を活かした、産業や交流が盛んなまちを創るために」では、70歳代の満足度が42.8%と最も高いが、全ての世代において50%に満たない満足度となっており、特に50歳代と20歳代では、40%未満の満足度となっている。「不満・やや不満」では、50歳代が31.9%と最も高くなっており、将来像Ⅳにおける50歳代の満足度は最も低く、不満は最も高いという結果となっている。</p>
年代	満足・やや満足 (%)	不満・やや不満 (%)																					
20歳代	39.6%	25.4%																					
30歳代	41.9%	23.9%																					
40歳代	40.7%	30.9%																					
50歳代	36.5%	31.9%																					
60歳代	42.7%	27.1%																					
70歳代	42.8%	18.8%																					
<p>年代別満足度【将来像Ⅴ】</p>	<p>○ 満足・やや満足 ● 不満・やや不満</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年代</th> <th>満足・やや満足 (%)</th> <th>不満・やや不満 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>20歳代</td> <td>50.4%</td> <td>17.8%</td> </tr> <tr> <td>30歳代</td> <td>47.8%</td> <td>18.9%</td> </tr> <tr> <td>40歳代</td> <td>50.9%</td> <td>22.6%</td> </tr> <tr> <td>50歳代</td> <td>48.7%</td> <td>24.3%</td> </tr> <tr> <td>60歳代</td> <td>57.6%</td> <td>18.9%</td> </tr> <tr> <td>70歳代</td> <td>54.9%</td> <td>16.8%</td> </tr> </tbody> </table>	年代	満足・やや満足 (%)	不満・やや不満 (%)	20歳代	50.4%	17.8%	30歳代	47.8%	18.9%	40歳代	50.9%	22.6%	50歳代	48.7%	24.3%	60歳代	57.6%	18.9%	70歳代	54.9%	16.8%	<p>「将来像Ⅴ 市民がまちづくりを楽しめるまちを創るために」では、60歳代の満足度が57.6%と最も高く、50%に満たなかったのは50歳代の48.7%と、最も満足度が低かった30歳代の47.8%となっている。「不満・やや不満」では、50歳代の24.3%が最も高く、70歳代の16.8%が最も低くなっている。</p>
年代	満足・やや満足 (%)	不満・やや不満 (%)																					
20歳代	50.4%	17.8%																					
30歳代	47.8%	18.9%																					
40歳代	50.9%	22.6%																					
50歳代	48.7%	24.3%																					
60歳代	57.6%	18.9%																					
70歳代	54.9%	16.8%																					
<p>年代別満足度【将来像Ⅵ】</p>	<p>○ 満足・やや満足 ● 不満・やや不満</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年代</th> <th>満足・やや満足 (%)</th> <th>不満・やや不満 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>20歳代</td> <td>53.9%</td> <td>16.8%</td> </tr> <tr> <td>30歳代</td> <td>54.2%</td> <td>16.6%</td> </tr> <tr> <td>40歳代</td> <td>54.8%</td> <td>21.0%</td> </tr> <tr> <td>50歳代</td> <td>51.9%</td> <td>21.3%</td> </tr> <tr> <td>60歳代</td> <td>60.0%</td> <td>18.4%</td> </tr> <tr> <td>70歳代</td> <td>55.8%</td> <td>16.3%</td> </tr> </tbody> </table>	年代	満足・やや満足 (%)	不満・やや不満 (%)	20歳代	53.9%	16.8%	30歳代	54.2%	16.6%	40歳代	54.8%	21.0%	50歳代	51.9%	21.3%	60歳代	60.0%	18.4%	70歳代	55.8%	16.3%	<p>「将来像Ⅵ 震災からの復興を成し遂げ、発展していくまちを創るために」は、将来像Ⅲに次いで全体の満足度が高く、全ての世代で50%を超えている。その中でも最も満足度が高かったのは60歳代の60.0%であった。「不満・やや不満」は、50歳代の21.3%が最も高く、70歳代の16.3%が最も低くなっている。</p>
年代	満足・やや満足 (%)	不満・やや不満 (%)																					
20歳代	53.9%	16.8%																					
30歳代	54.2%	16.6%																					
40歳代	54.8%	21.0%																					
50歳代	51.9%	21.3%																					
60歳代	60.0%	18.4%																					
70歳代	55.8%	16.3%																					

(2) 結婚・出産・子育てに関する意識調査

ア) 目的

若い世代の結婚・出産・育児に関する意識・意向を把握するために実施

イ) 調査対象と回答状況

◇調査対象 20～39歳までの市民2,000人(男女各1,000人)
(平成27年4月1日現在の住民基本台帳から、市内10地区の人口構成率と、年齢、性別の構成率を考慮して無作為抽出)

◇回答数 665人

◇回答率 33.3%

ウ) 調査方法

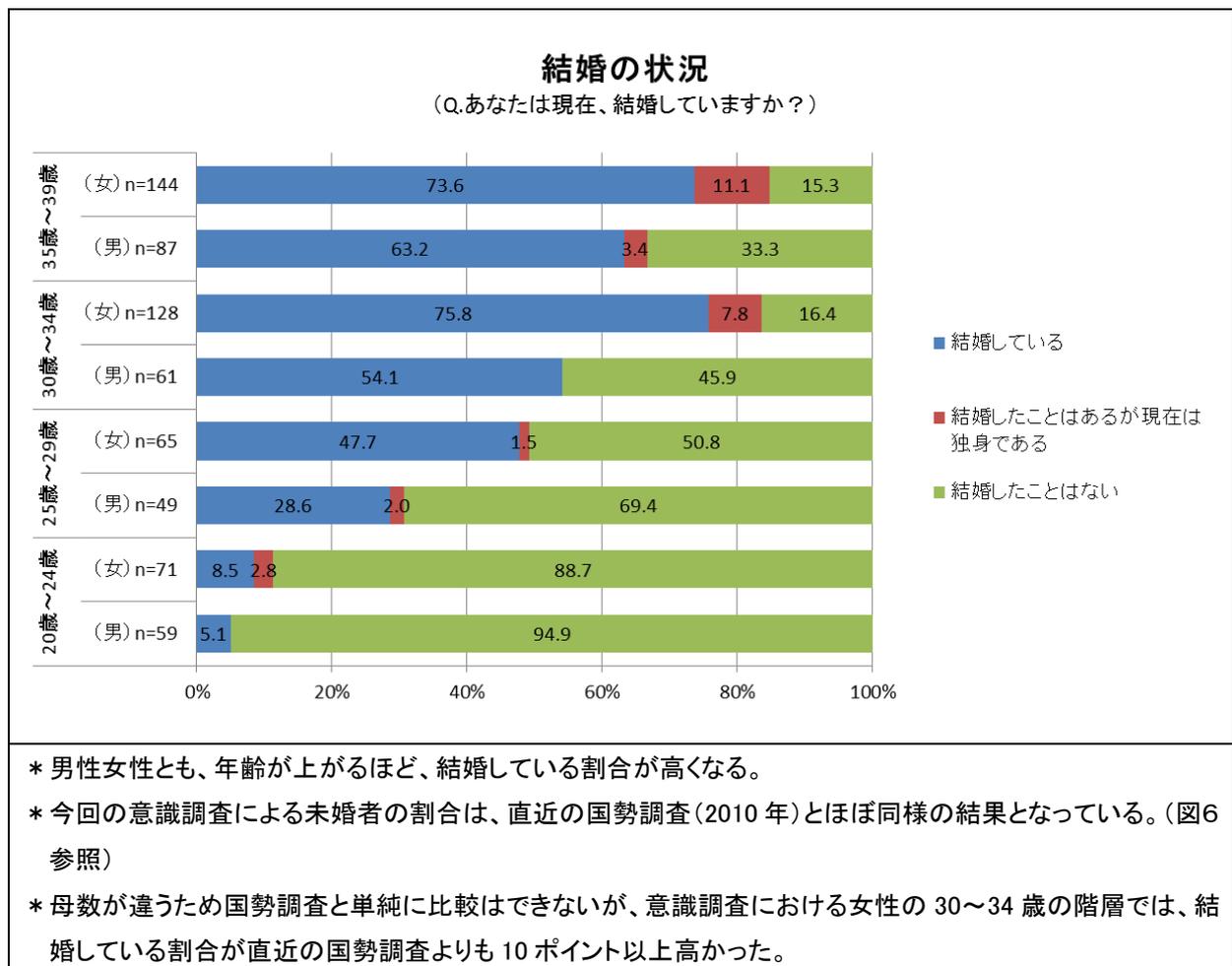
◇配布 行政区長による配布

◇回収 返信用封筒による返信(郵便)

エ) 実施時期

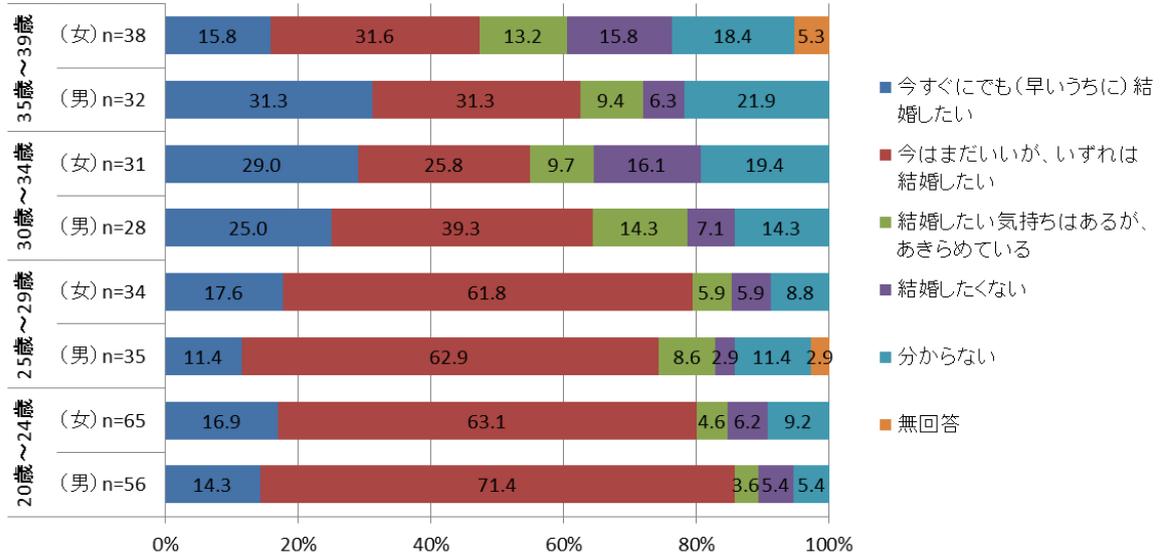
平成27年4月16日～4月30日

オ) 調査結果の概要



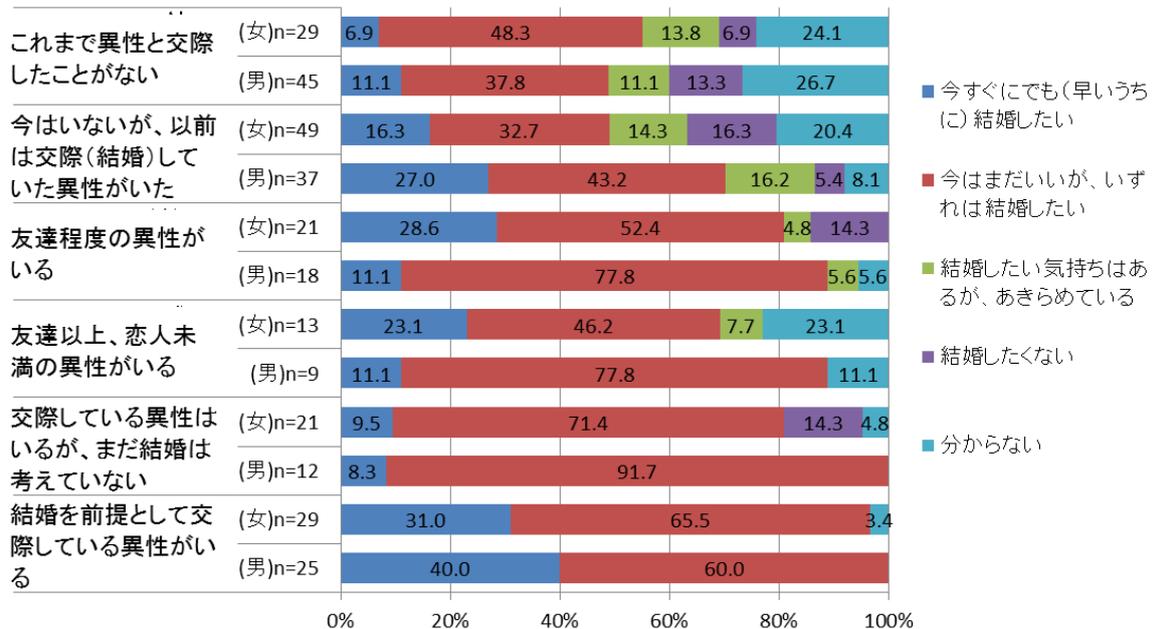
未婚者・独身者の結婚観

(Q.あなたは将来、結婚したいと思いますか？)



- * 男性女性とも年齢が若いほど、結婚に対して前向きな回答をする割合が高い。
- * 結婚に対して前向きであっても、若いほど「いずれは結婚したい」と回答する率が高く、年齢が上がるにつれ「早いうちに結婚したい」と回答する率が高くなる。
- * 男性女性の違いはあまりない。

交際状況別にみた未婚者・独身者の結婚観



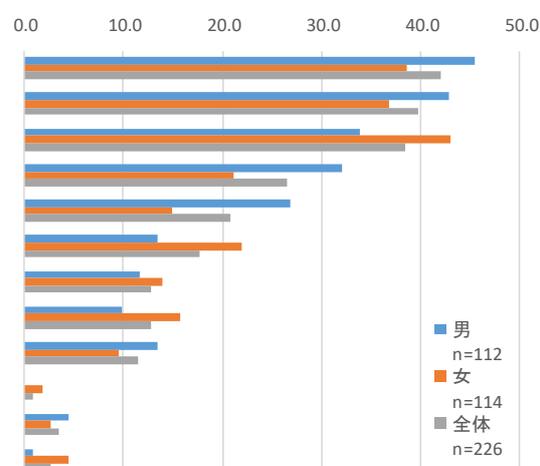
- * 男性女性とも結婚に対して前向きなのは、「結婚を前提に交際中」と「以前は交際していた」であるが、一方で、「以前は交際していた」は、結婚に否定的な区分でも高い割合を示している。
- * 「交際したことがない」と回答する方は、結婚に対して否定的である。

結婚に前向きな回答をした理由(3つまで回答可)

【男女別】

(単位: %)

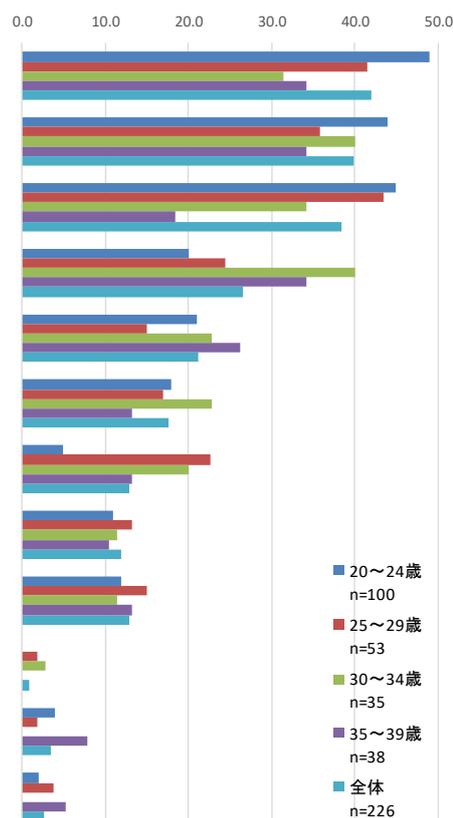
区分	男	女	全体
	n=112	n=114	n=226
家族を持ちたい	45.5	38.6	42.0
好きな人と一緒にいたい	42.9	36.8	39.8
子供が欲しい	33.9	43.0	38.5
親、親戚を安心させたい	32.1	21.1	26.5
安らぎが欲しい	26.8	14.9	20.8
経済的安定が欲しい	13.4	21.9	17.7
適齢期だから	11.6	14.0	12.8
老後が心配	9.8	15.8	12.8
一人で寂しい	13.4	9.6	11.5
家事負担を減らしたい	0.0	1.8	0.9
特になし	4.5	2.6	3.5
その他	0.9	4.4	2.7



【年齢別】

(単位: %)

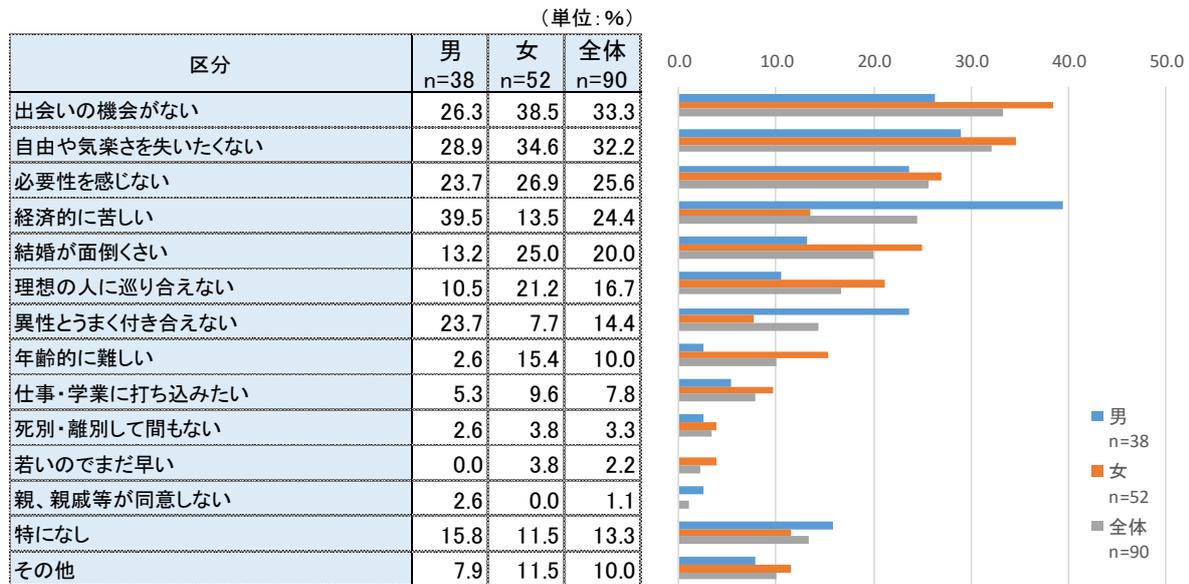
区分	20~24歳	25~29歳	30~34歳	35~39歳	全体
	n=100	n=53	n=35	n=38	n=226
家族を持ちたい	49.0	41.5	31.4	34.2	42.0
好きな人と一緒にいたい	44.0	35.8	40.0	34.2	39.8
子供が欲しい	45.0	43.4	34.3	18.4	38.5
親、親戚を安心させたい	20.0	24.5	40.0	34.2	26.5
安らぎが欲しい	21.0	15.1	22.9	26.3	21.2
経済的安定が欲しい	18.0	17.0	22.9	13.2	17.7
適齢期だから	5.0	22.6	20.0	13.2	12.8
一人で寂しい	11.0	13.2	11.4	10.5	11.9
老後が心配	12.0	15.1	11.4	13.2	12.8
家事負担を減らしたい	0.0	1.9	2.9	0.0	0.9
特になし	4.0	1.9	0.0	7.9	3.5
その他	2.0	3.8	0.0	5.3	2.7



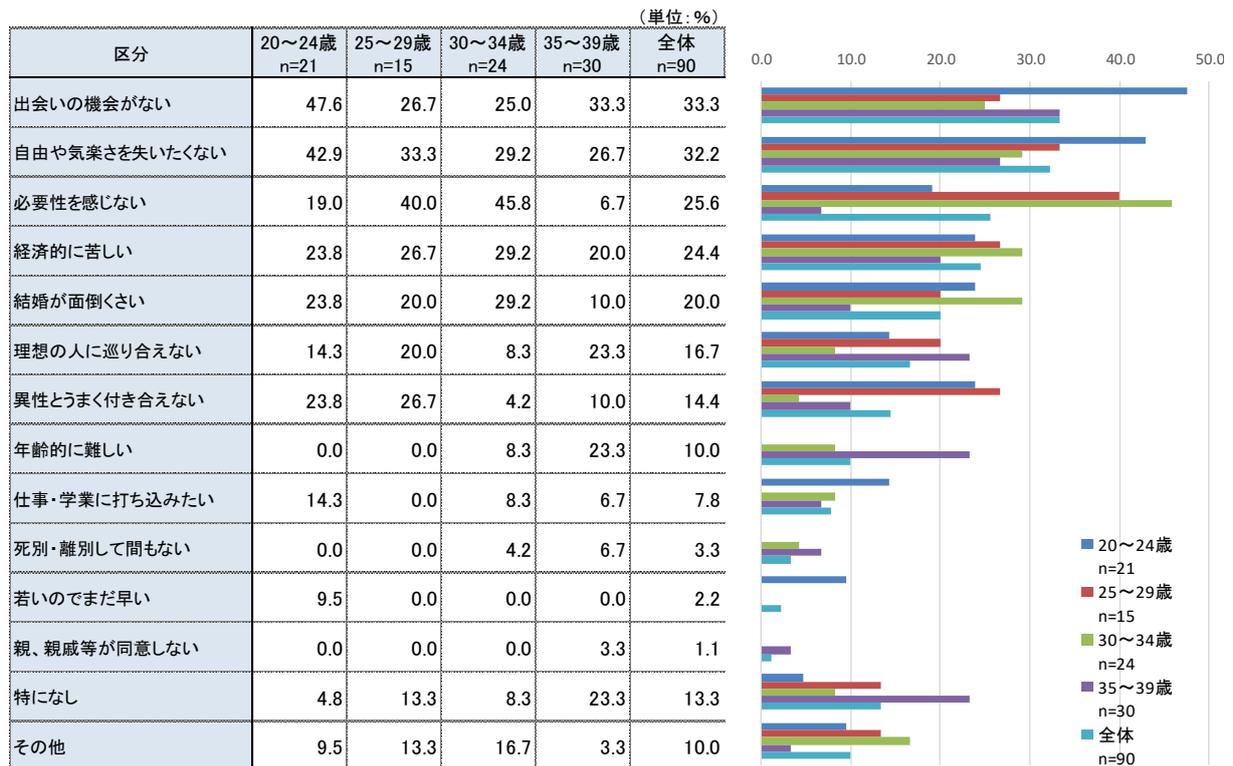
- * 男性女性ともに、「家族を持ちたい」「好きな人と一緒にいたい」「子供が欲しい」と回答した割合が高い。
- * 男性は、上記以外に「親・親戚を安心させたい」を含め、「安らぎ」等の心理的な理由をあげた割合が高い。
- * 女性は、「子供が欲しい」の割合が最も高く、「経済的安定」「老後の心配」といった理由をあげるなど、男性に比べて結婚に対して、現実的な理由をあげる割合が高い。

結婚に否定的な回答をした理由(3つまで回答可)

【男女別】



【年齢別】



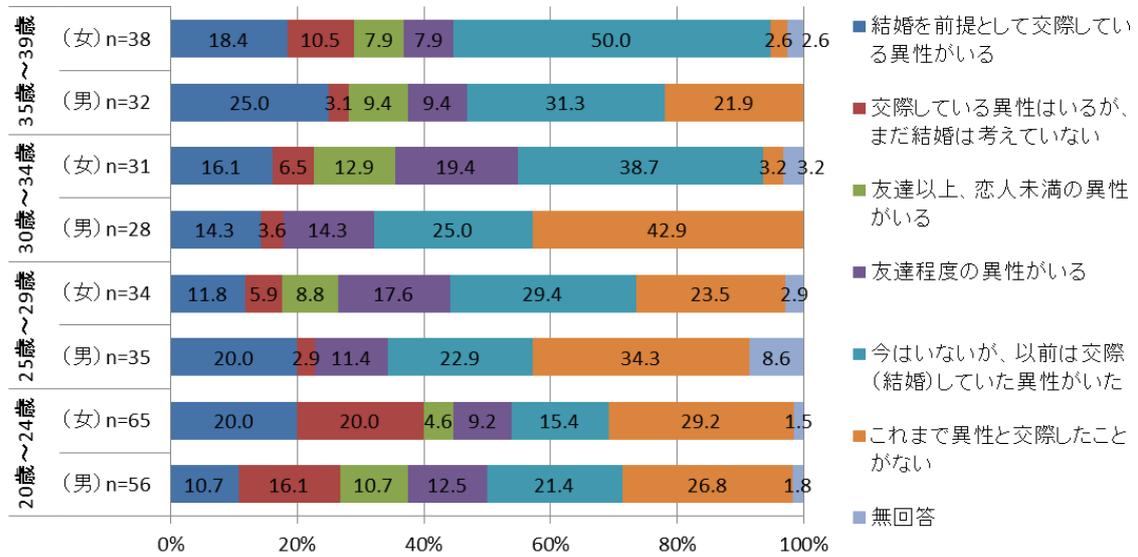
* 男性は、「経済的に苦しい」を理由としてあげる方が最も多く、次いで「自由・気楽さを失いたくない」「出会いの機会がない」となっている。「異性とうまく付き合えない」も約 24%と特徴的である。

* 女性は、「出会いの機会がない」を理由としてあげる方が最も多く、次いで「自由・気楽さを失いたくない」「必要性を感じない」となっている。

* 年齢別では、20~24 歳は、「出会いの機会がない」、「自由・気楽さを失いたくない」が多く、25~29 歳及び 30~34 歳は、「必要性を感じない」が突出している。

未婚者・独身者の交際の状況

(Q.あなたは現在、交際している異性はいますか?)



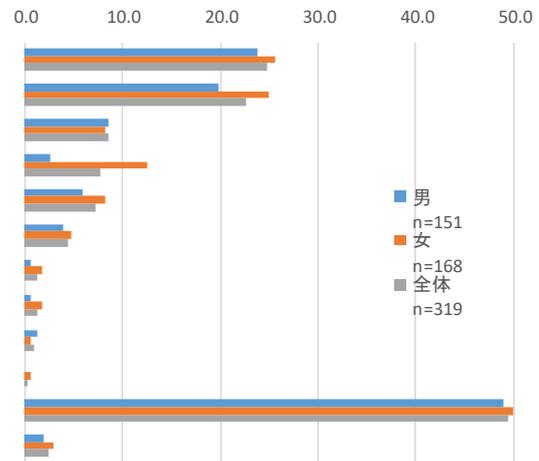
* 男性では、「異性と交際したことがない」と回答する割合がいずれの年齢階級でも多い。

* 女性では、年齢が上がるにつれ「以前は交際していた」と回答する割合が多くなっている。

結婚について意識していることや行動していること(未婚者対象:複数回答)

(単位:%)

区分	男 n=151	女 n=168	全体 n=319
貯金している	23.8	25.6	24.8
健康に気を使っている	19.9	25.0	22.6
交際相手と話し合っている	8.6	8.3	8.5
自分磨きをしている	2.6	12.5	7.8
交際(結婚)相手紹介を依頼	6.0	8.3	7.2
合コンや婚活パーティーに参加	4.0	4.8	4.4
結婚雑誌を講読	0.7	1.8	1.3
自治体、NPO等の婚活事業利用	0.7	1.8	1.3
お見合いをしている	1.3	0.6	0.9
民間結婚相談所に登録	0.0	0.6	0.3
特になし	49.0	50.0	49.5
その他	2.0	3.0	2.5

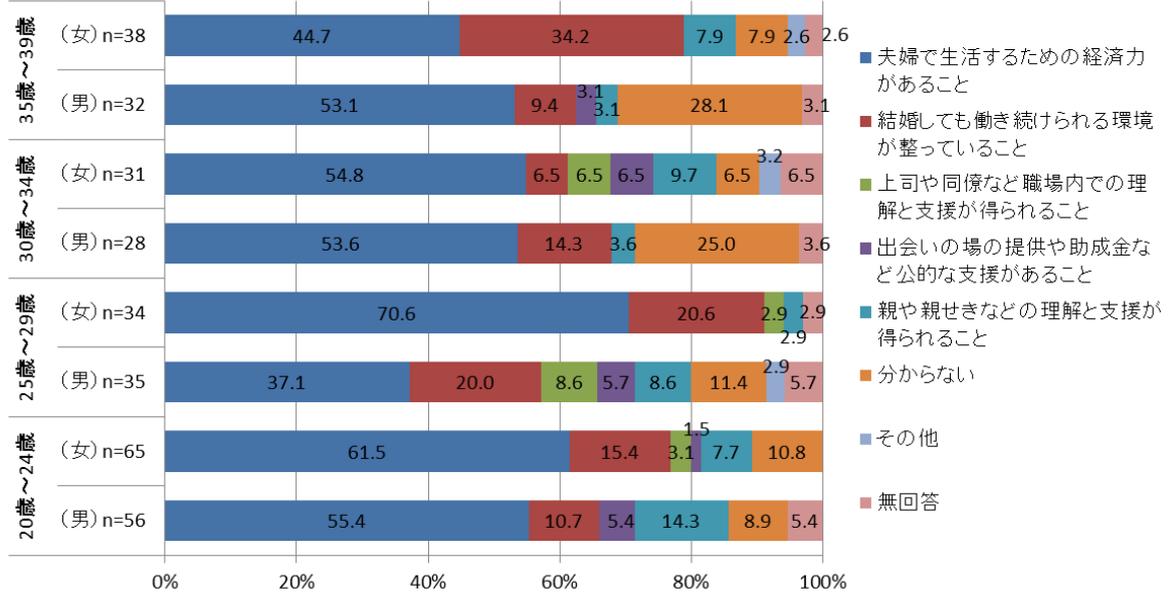


* 男性女性とも、「貯金している」「健康に気を使っている」と回答した割合が、他の項目と比べて高くなっている。

* 男性女性とも半数が、特に何もしていないと回答している。

結婚するために重要なこと(未婚者対象)

(Q.結婚するためには、何が最も重要だと思いますか?)

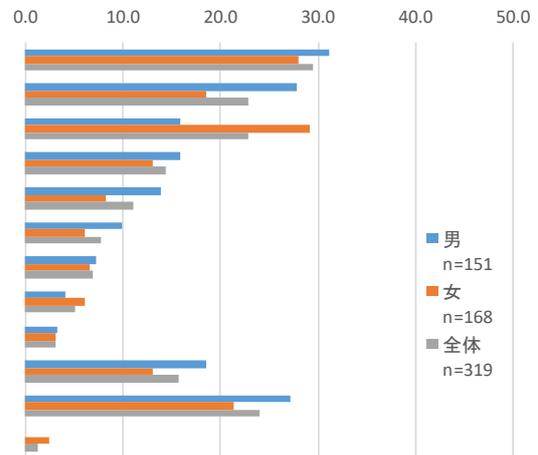


- * 「夫婦で生活するための経済力」と回答した方が、どの年齢階級においても男性女性とも突出している。
- * 35~39歳の女性の約3割は「結婚しても働き続けられる環境」を挙げており、「経済力」と同様の水準となっている。

市役所等の公的機関に実施してほしい婚活事業(未婚者対象:3つまで回答可)

(単位:%)

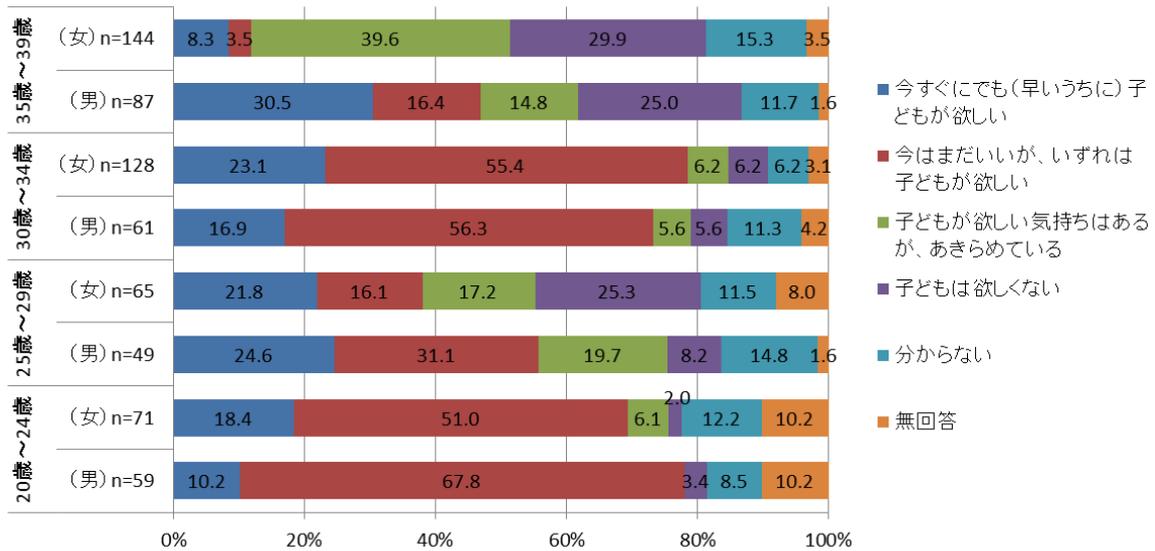
区分	男 n=151	女 n=168	全体 n=319
スポーツ・レク等アウトドア型出会い事業	31.1	28.0	29.5
パーティー等インドア型出会い事業	27.8	18.5	22.9
結婚祝い金・結婚記念品	15.9	29.2	22.9
結婚相談員・支援員の配置	15.9	13.1	14.4
1対1お見合い型出会い事業	13.9	8.3	11.0
登録制の婚活支援	9.9	6.0	7.8
魅力アップ結婚講座	7.3	6.5	6.9
国際結婚を支援する事業	4.0	6.0	5.0
親等対象の結婚に関する講演会	3.3	3.0	3.1
分からない	18.5	13.1	15.7
特になし	27.2	21.4	24.1
その他	0.0	2.4	1.3



- * 男性は、出会い型の事業を実施して欲しいと回答している割合が高い。
- * 女性は、「アウトドア型」の出会い事業にも期待しているが、「結婚祝い金や記念品」と回答した割合が最も高い。
- * 約40%の方が「特になし」「分からない」と回答している。

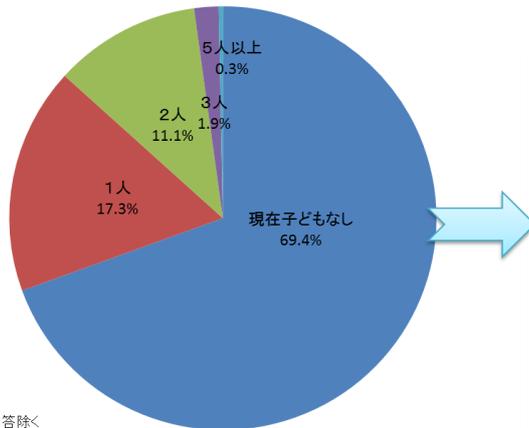
子どもを持つことの意識

(Q.あなたは将来、子どもが欲しいと思いますか？)



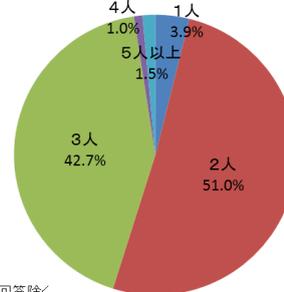
- * 男性は若いほど子供を欲しいと思っている割合が高い。
- * 男性で子供を持つ(増える)ことに否定的となっている年代は、30~34歳が3割、35~39歳が約5割と年が上がるほど割合が高い。
- * 女性で、35~39歳の子供を持つ(増える)ことに否定的と回答している割合が、他の年代に比べて際立って低くなる。

子どもが欲しいと回答した人の現在の子どもの数
【男女計:n=324】



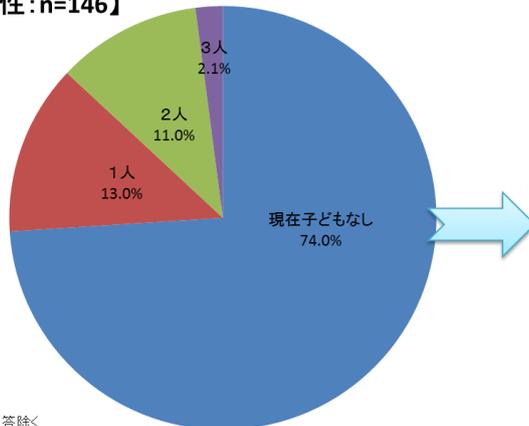
※無回答除く

現在子どもがいない人の理想の子ども数(n=206)



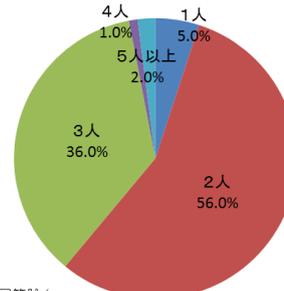
※無回答除く

【男性:n=146】



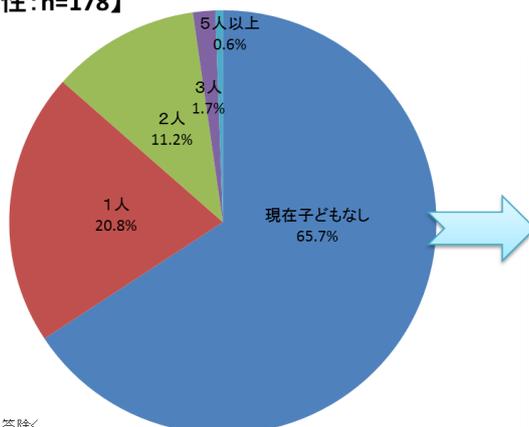
※無回答除く

現在子どもがいない人の理想の子ども数(n=100)



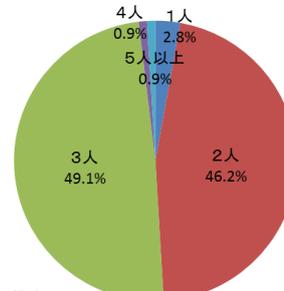
※無回答除く

【女性:n=178】



※無回答除く

現在子どもがいない人の理想の子ども数(n=106)



※無回答除く

* 子どもが欲しいと回答した人の約7割が現在子どもがいない人となっている。

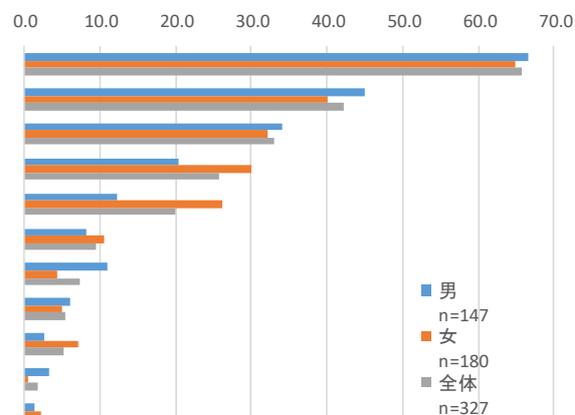
* 現在子どもがいない人の理想の子ども数は、男性では「2人」が1番多く、次いで「3人」と回答しているが、女性はその逆となっている。

子どもが欲しいと回答した理由(3つまで回答可)

【男女別】

(単位: %)

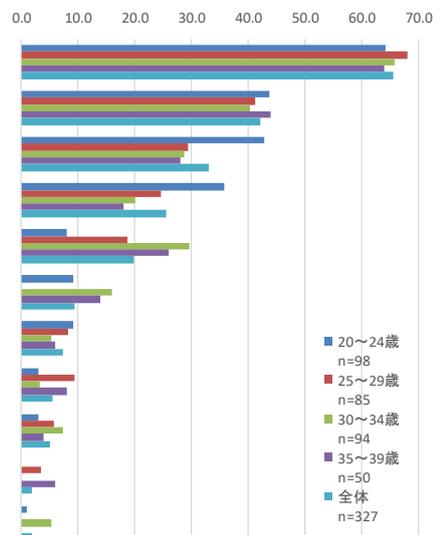
区分	男 n=147	女 n=180	全体 n=327
子供がいると楽しい、幸せ	66.7	65.0	65.7
新しい家族が欲しい	44.9	40.0	42.2
親に孫を見せてあげたい	34.0	32.2	33.0
子育てを経験したい	20.4	30.0	25.7
自分の年齢、健康を考慮して	12.2	26.1	19.9
配偶者(交際相手)が望んでいる	8.2	10.6	9.5
将来、子供に面倒を見て欲しい	10.9	4.4	7.3
配偶者(交際相手)の年齢健康を考えて	6.1	5.0	5.5
配偶者(交際相手)が出産育児に協力的	2.7	7.2	5.2
特になし	3.4	0.6	1.8
その他	1.4	2.2	1.8



【年齢別】

(単位: %)

区分	20~24歳 n=98	25~29歳 n=85	30~34歳 n=94	35~39歳 n=50	全体 n=327
子供がいると楽しい、幸せ	64.3	68.2	66.0	64.0	65.7
新しい家族が欲しい	43.9	41.2	40.4	44.0	42.2
親に孫を見せてあげたい	42.9	29.4	28.7	28.0	33.0
子育てを経験したい	35.7	24.7	20.2	18.0	25.7
自分の年齢、健康を考慮して	8.2	18.8	29.8	26.0	19.9
配偶者(交際相手)が望んでいる	9.2	0.0	16.0	14.0	9.5
将来、子供に面倒を見て欲しい	9.2	8.2	5.3	6.0	7.3
配偶者(交際相手)の年齢健康を考えて	3.1	9.4	3.2	8.0	5.5
配偶者(交際相手)が出産育児に協力的	3.1	5.9	7.4	4.0	5.2
特になし	0.0	3.5	0.0	6.0	1.8
その他	1.0	0.0	5.3	0.0	1.8



* 男性女性とも「子供がいると楽しく幸せ」の割合が最も高く、次いで、「新しい家族が欲しい」、「親に孫を見せてあげたい」となっている。

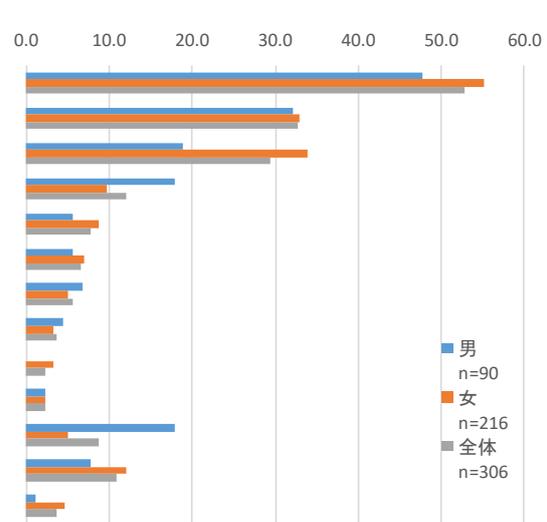
* 各年代とも、ほぼ同様の傾向である。

子どもが増えることに否定的な回答した理由(3つまで回答可)

【男女別】

(単位: %)

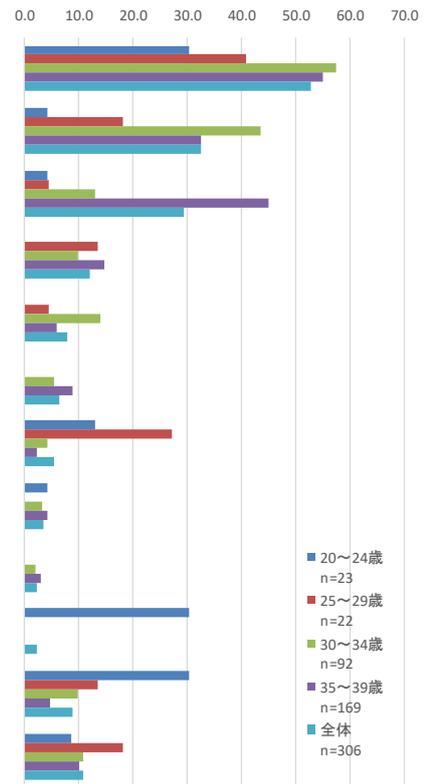
区分	男 n=90	女 n=216	全体 n=306
経済的負担が大	47.8	55.1	52.9
今の子供人数で十分	32.2	32.9	32.7
年齢的に難しい	18.9	33.8	29.4
子育て支援策が整っていない	17.8	9.7	12.1
家が手狭	5.6	8.8	7.8
面倒を見てくれる人がいない	5.6	6.9	6.5
子供が苦手	6.7	5.1	5.6
配偶者(交際相手)が子供を望んでいない	4.4	3.2	3.6
配偶者(交際相手)の協力が得られない	0.0	3.2	2.3
まだ若い	2.2	2.3	2.3
特になし	17.8	5.1	8.8
その他	7.8	12.0	10.8
無回答	1.1	4.6	3.6



【年齢別】

(単位: %)

区分	20~24歳 n=23	25~29歳 n=22	30~34歳 n=92	35~39歳 n=169	全体 n=306
経済的負担が大	30.4	40.9	57.6	55.0	52.9
今の子供人数で十分	4.3	18.2	43.5	32.5	32.7
年齢的に難しい	4.3	4.5	13.0	45.0	29.4
子育て支援策が整っていない	0.0	13.6	9.8	14.8	12.1
家が手狭	0.0	4.5	14.1	5.9	7.8
面倒を見てくれる人がいない	0.0	0.0	5.4	8.9	6.5
子供が苦手	13.0	27.3	4.3	2.4	5.6
配偶者(交際相手)が子供を望んでいない	4.3	0.0	3.3	4.1	3.6
配偶者(交際相手)の協力が得られない	0.0	0.0	2.2	3.0	2.3
まだ若い	30.4	0.0	0.0	0.0	2.3
特になし	30.4	13.6	9.8	4.7	8.8
その他	8.7	18.2	10.9	10.1	10.8



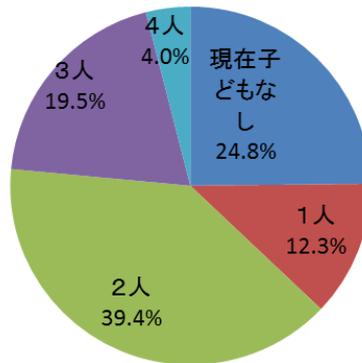
* 「経済的負担が大きい」、「今の子供数で十分」、「年齢的に難しい」と回答した割合が高い。

* 女性では、男性に比較して「年齢的に難しい」を理由にあげている割合が倍近くになっている。

* 年代別では、20~24歳は「まだ若い」、35~39歳は「年齢的に厳しい」といった年齢を理由に挙げた割合が高い。

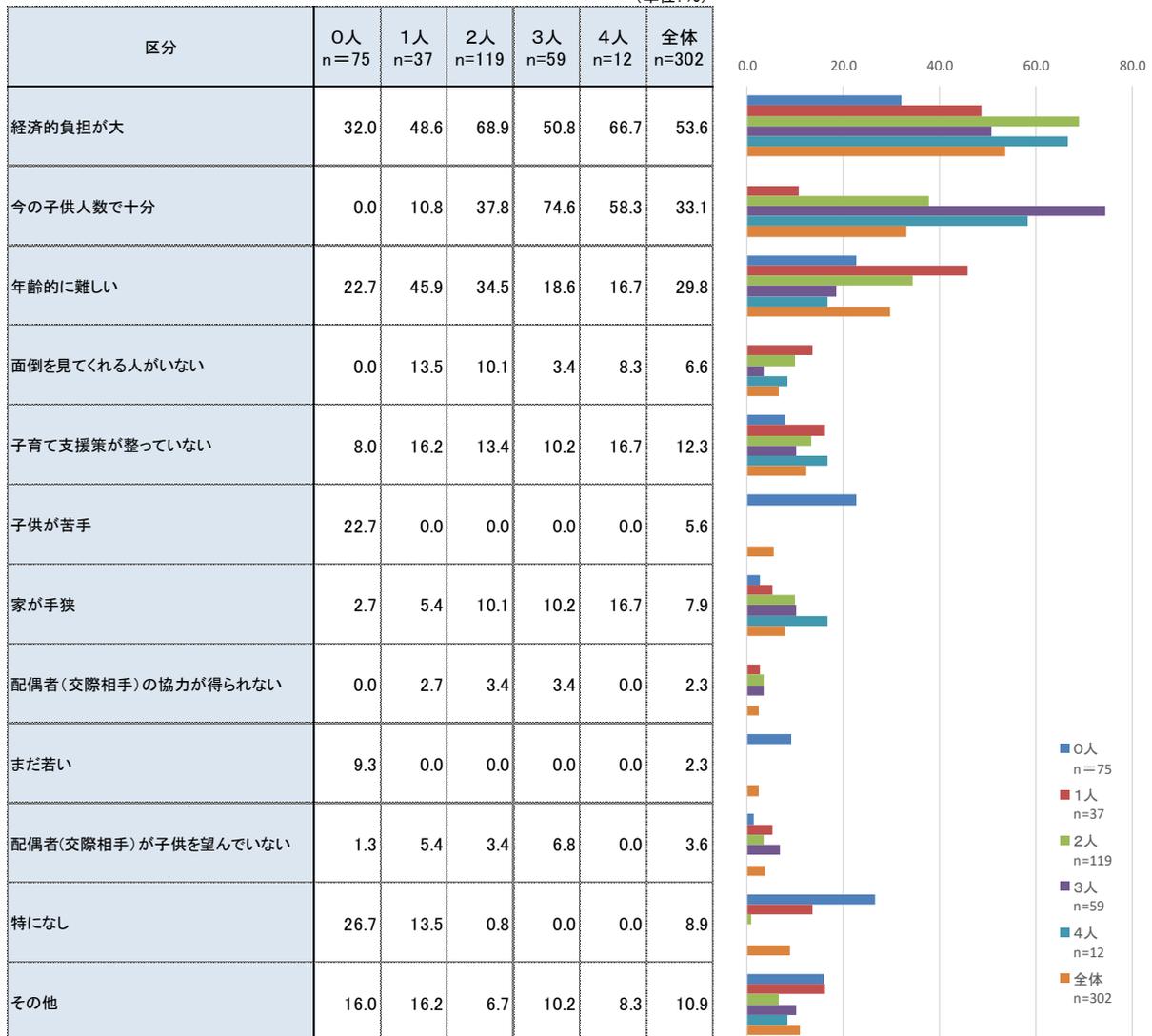
子どもが増えることに否定的な回答した人の現在の子どもの数

【男女計:n=302】



子どもが増えることに否定的な回答した理由(3つまで回答可)

(単位: %)



* 子どもの有無にかかわらず「経済的負担」を理由に掲げる人が多い。

* 子どもの数が多いほど、「今の子供数で十分」と思っている。

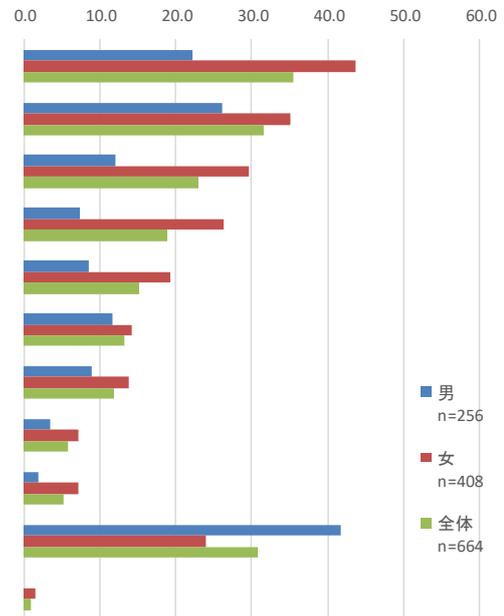
* 次いで、「年齢」を理由とした回答の割合が高くなっている。

妊娠や出産について意識又は行動している(してきた)こと(複数回答可)

【男女別】

(単位: %)

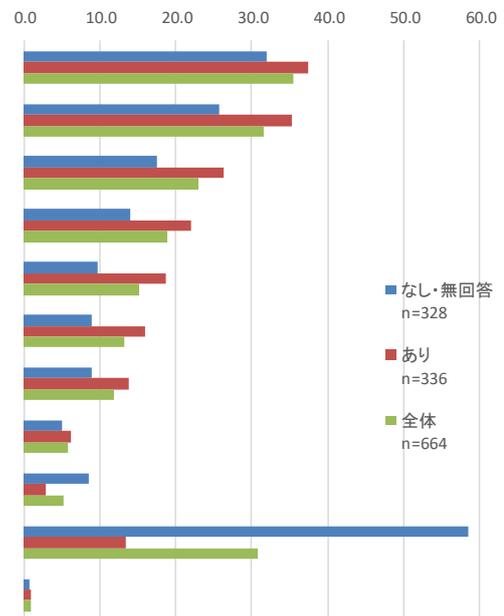
区分	男 n=256	女 n=408	全体 n=664
健康に気を使っている	22.3	43.6	35.4
貯金している	26.2	35.0	31.6
年齢を意識して計画をたてている	12.1	29.7	22.9
本やネット等で情報収集	7.4	26.2	19.0
出産に備えた働き方を考えている	8.6	19.4	15.2
配偶者(交際相手)と話し合っている	11.7	14.2	13.3
自治体等の支援制度を調べている	9.0	13.7	11.9
住むところを選んでいる	3.5	7.1	5.7
検査や治療を受けている	2.0	7.1	5.1
特になし	41.8	24.0	30.9
その他	0.0	1.5	0.9



【子どもの有無別】

(単位: %)

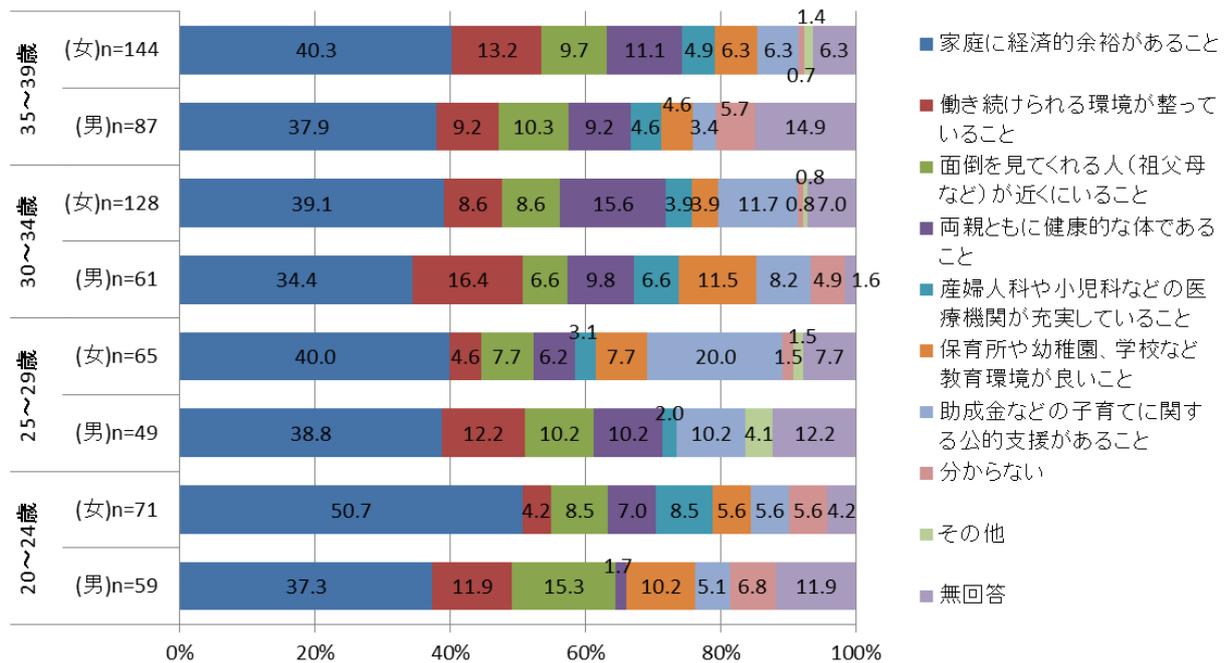
区分	なし・無回答 n=328	あり n=336	全体 n=664
健康に気を使っている	32.0	37.5	35.4
貯金している	25.8	35.3	31.6
年齢を意識して計画をたてている	17.6	26.2	22.9
本やネット等で情報収集	14.1	22.1	19.0
出産に備えた働き方を考えている	9.8	18.6	15.2
配偶者(交際相手)と話し合っている	9.0	15.9	13.3
自治体等の支援制度を調べている	9.0	13.7	11.9
住むところを選んでいる	5.1	6.1	5.7
検査や治療を受けている	8.6	2.9	5.1
特になし	58.6	13.5	30.9
その他	0.8	1.0	0.9



- * どの項目においても、男性よりも女性の方が高い意識を持っていることが分かる。
- * 女性は「健康」や「年齢」などと回答した割合が高く、体のことを意識している。
- * 男性の「特になし」と回答した割合が高く、妊娠、出産に対する男性の意識の低さが見えてくる。
- * 子どもの有無別では、子ども有りの方は意識が高く、子どもなしの場合は「特になし」と回答した割合が突出している。

子どもを産み育てるために重要なこと

(Q.子どもを産み育てるためには、何が最も重要だと思いますか？)



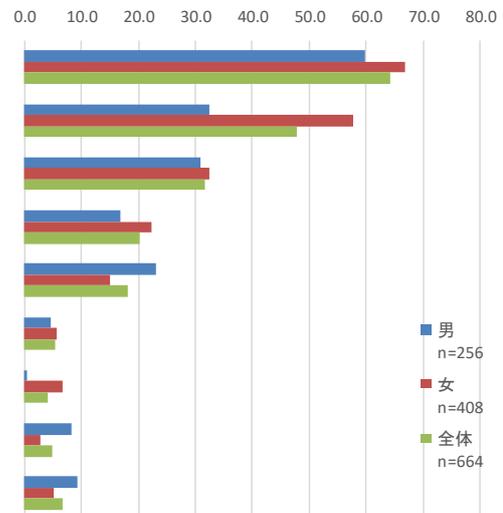
*「経済的余裕があること」と回答した割合が突出して最も多く、他の項目はほぼ1割以内となった。

子育てに対して不安に思っていること(3つまで回答可)

【男女別】

(単位: %)

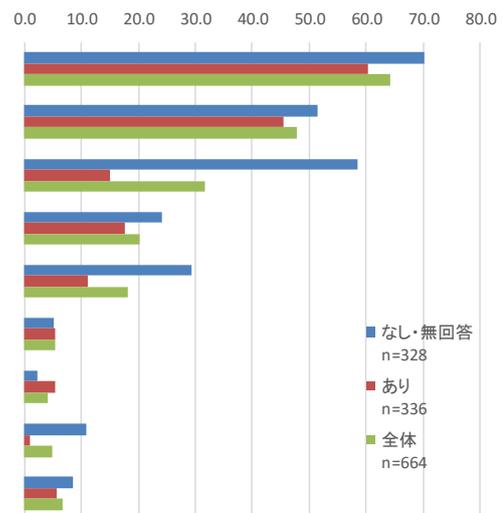
区分	男 n=256	女 n=408	全体 n=664
経済的負担が大きくなりそう	59.8	66.9	64.2
仕事と家事の両立	32.4	57.6	47.9
育児が大変そう	30.9	32.4	31.8
思うように保育サービスが利用できない	16.8	22.3	20.2
自分や夫婦の時間が取れなくなる	23.0	15.0	18.1
親の協力が期待できない	4.7	5.6	5.3
配偶者(交際相手)の協力が期待できない	0.4	6.6	4.2
分からない	8.2	2.7	4.8
特になし	9.4	5.1	6.8



【子どもの有無別】

(単位: %)

区分	なし・無回答 n=328	あり n=336	全体 n=664
経済的負担が大きくなりそう	70.3	60.3	64.2
仕事と家事の両立	51.6	45.6	47.9
育児が大変そう	58.6	15.0	31.8
思うように保育サービスが利用できない	24.2	17.6	20.2
自分や夫婦の時間が取れなくなる	29.3	11.0	18.1
親の協力が期待できない	5.1	5.4	5.3
配偶者(交際相手)の協力が期待できない	2.3	5.4	4.2
分からない	10.9	1.0	4.8
特になし	8.6	5.6	6.8

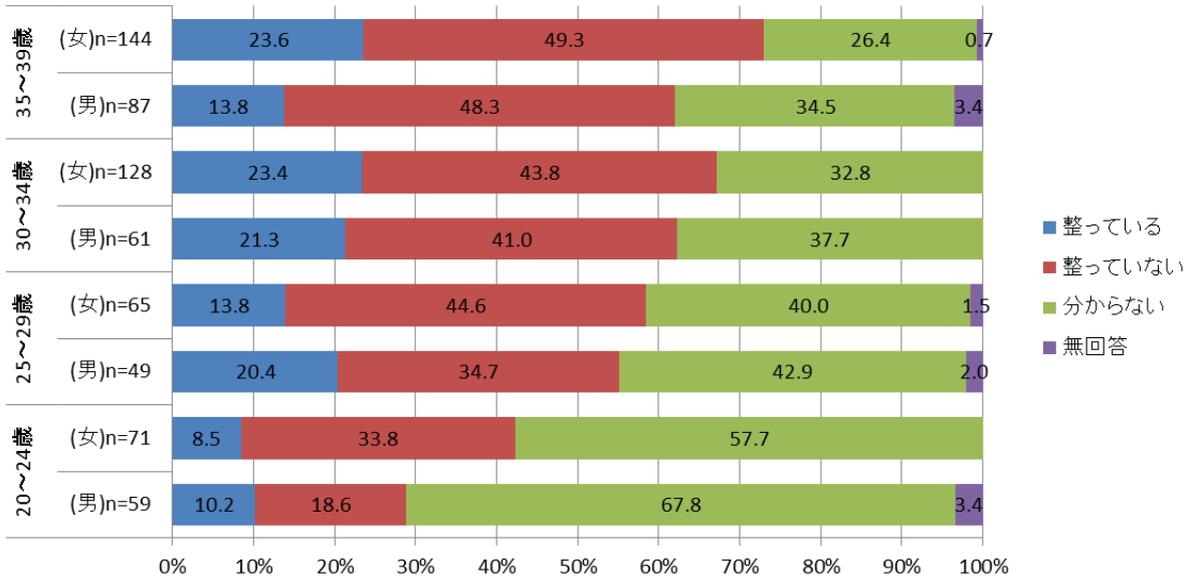


* 「経済的負担」を不安に思っている割合が最も高く、次いで、「仕事と家事の両立」の割合が高い。

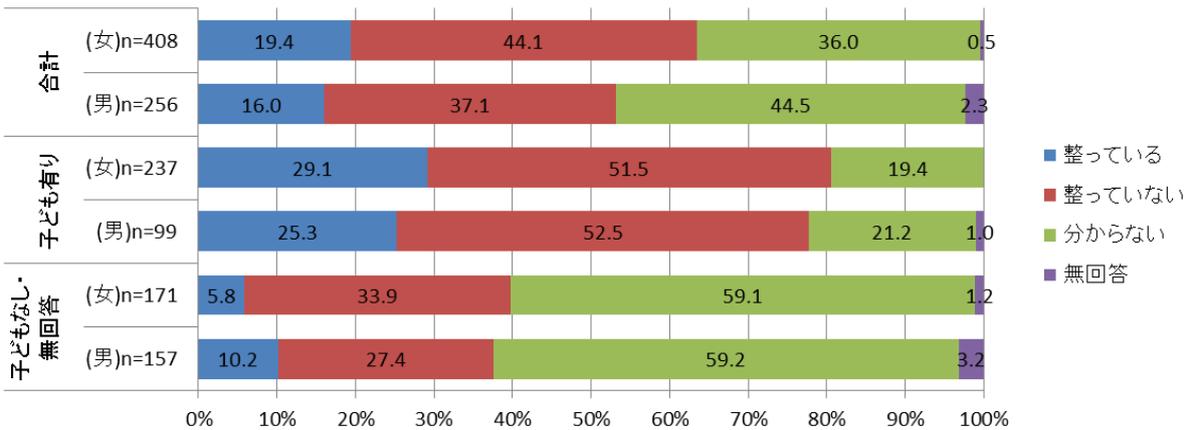
* 「仕事と家事の両立」に関しては、男性の回答割合に対し、女性では2倍近い割合となった。

栗原市の子育て環境

(Q.栗原市は、結婚・出産・子育てをする環境が整っていると思いますか?)



【子どもの有無別】



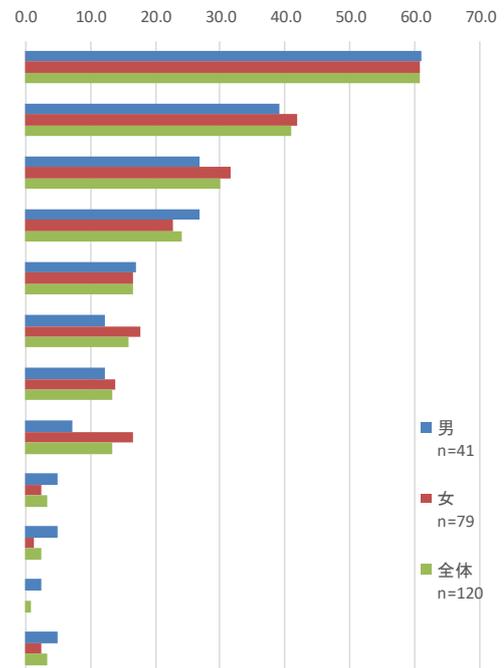
- * 年代別では、若い年代ほど「分からない」と回答した割合が高く、各施策が浸透していないことが伺われる。
- * 年代が高くなるにつれ、「環境が整っていない」と回答した割合も高くなっている。
- * 子どもの有無別では、子ども有りの人は子どもなしの人よりも「環境が整っていない」と回答した割合が高い。
- * 子どもなしの人は、制度を利用する機会が少ないため「分からない」と回答した割合が高くなっている。

子育て環境が整っていると回答した理由(3つまで回答可)

【男女別】

(単位: %)

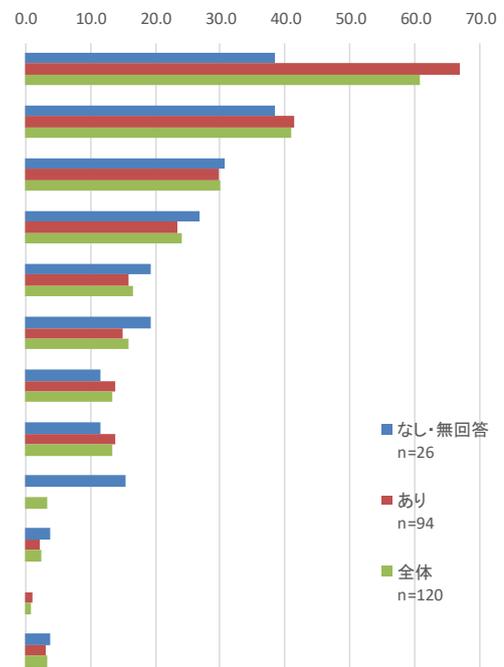
区分	男 n=41	女 n=79	全体 n=120
子育て環境が充実	61.0	60.8	60.8
自然環境に恵まれている	39.0	41.8	40.8
治安が良い	26.8	31.6	30.0
教育環境が充実	26.8	22.8	24.2
福祉環境が充実	17.1	16.5	16.7
日常生活が便利	12.2	17.7	15.8
医療環境が充実	12.2	13.9	13.3
近所付き合いが大切にされている	7.3	16.5	13.3
婚活支援が充実	4.9	2.5	3.3
交通の便が良い	4.9	1.3	2.5
住宅環境が充実	2.4	0.0	0.8
その他	4.9	2.5	3.3



【子どもの有無別】

(単位: %)

区分	なし・無回答 n=26	あり n=94	全体 n=120
子育て環境が充実	38.5	67.0	60.8
自然環境に恵まれている	38.5	41.5	40.8
治安が良い	30.8	29.8	30.0
教育環境が充実	26.9	23.4	24.2
福祉環境が充実	19.2	16.0	16.7
日常生活が便利	19.2	14.9	15.8
医療環境が充実	11.5	13.8	13.3
近所付き合いが大切にされている	11.5	13.8	13.3
婚活支援が充実	15.4	0.0	3.3
交通の便が良い	3.8	2.1	2.5
住宅環境が充実	0.0	1.1	0.8
その他	3.8	3.2	3.3



* 性別にかかわらず、「子育て環境が充実」、「自然環境に恵まれている」、「治安が良い」と回答した割合が高い。

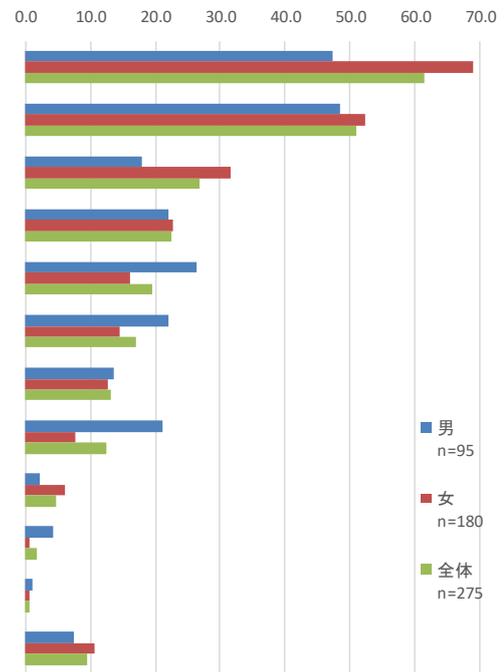
* 一方、子どもがいる人は、子どもがいない人よりも「子育て環境が充実」していると思っている。

子育て環境が整っていないと回答した理由(3つまで回答可)

【男女別】

(単位: %)

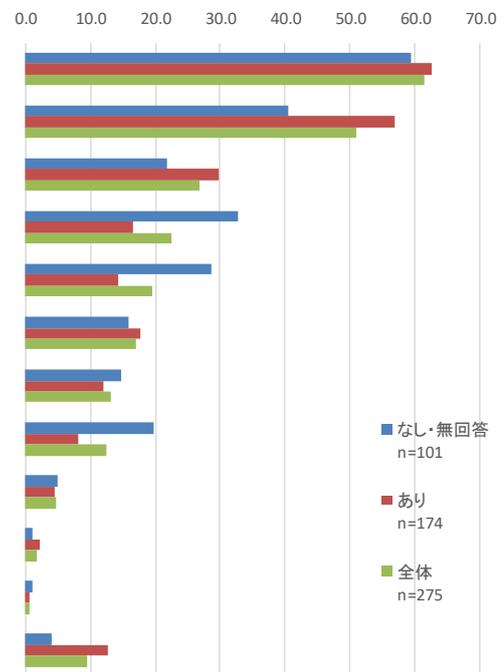
区分	男 n=95	女 n=180	全体 n=275
医療環境が充実していない	47.4	68.9	61.5
子育て環境が充実していない	48.4	52.2	50.9
教育環境が充実していない	17.9	31.7	26.9
交通の便が悪い	22.1	22.8	22.5
日常生活が不便	26.3	16.1	19.6
住宅環境が充実していない	22.1	14.4	17.1
福祉環境が充実していない	13.7	12.8	13.1
婚活支援が充実していない	21.1	7.8	12.4
近所付き合いが面倒	2.1	6.1	4.7
自然環境に恵まれていない	4.2	0.6	1.8
治安が悪い	1.1	0.6	0.7
その他	7.4	10.6	9.5



【子どもの有無別】

(単位: %)

区分	なし・無回答 n=101	あり n=174	全体 n=275
医療環境が充実していない	59.4	62.6	61.5
子育て環境が充実していない	40.6	56.9	50.9
教育環境が充実していない	21.8	29.9	26.9
交通の便が悪い	32.7	16.7	22.5
日常生活が不便	28.7	14.4	19.6
住宅環境が充実していない	15.8	17.8	17.1
福祉環境が充実していない	14.9	12.1	13.1
婚活支援が充実していない	19.8	8.0	12.4
近所付き合いが面倒	5.0	4.6	4.7
自然環境に恵まれていない	1.0	2.3	1.8
治安が悪い	1.0	0.6	0.7
その他	4.0	12.6	9.5

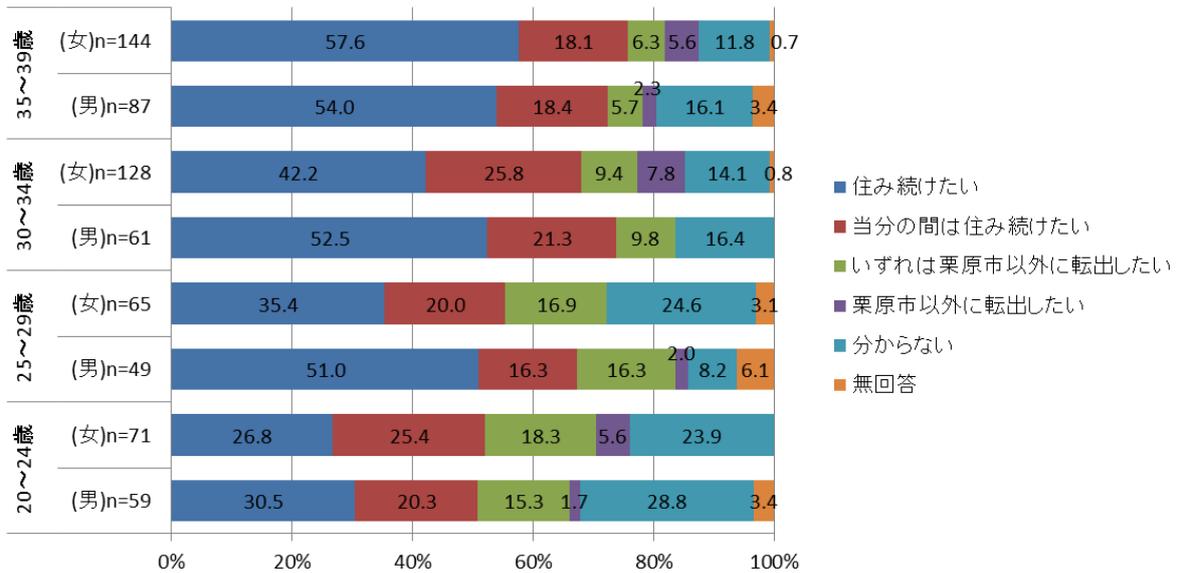


* 男女とも「医療環境が充実していない」、「子育て環境が充実していない」、「教育環境が充実していない」と回答した割合が高い。特に「医療環境」「教育環境」について、男性に比べて女性が回答した割合が 1.5 倍となっている。

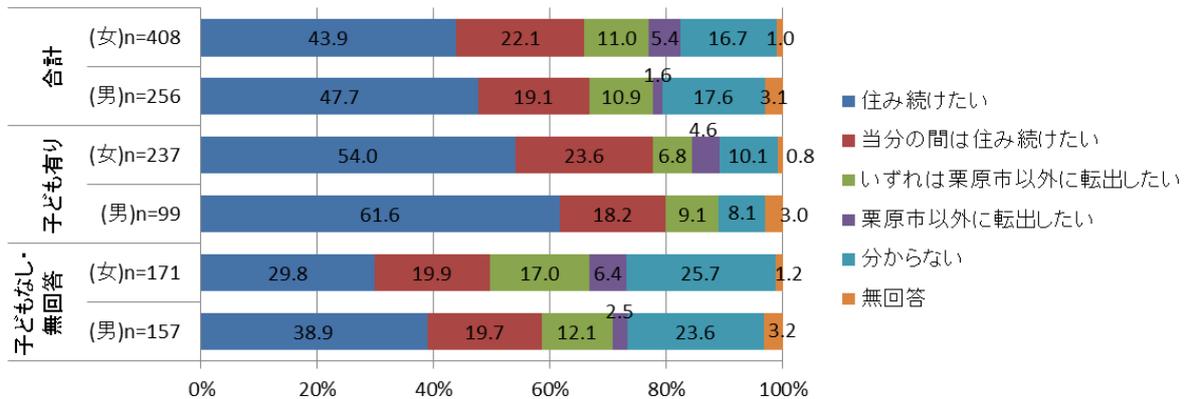
* 一方、子どもがいない人では、「交通」や「日常生活」の不便さを感じている割合が高い。

栗原市への定住希望

(Q.これからも栗原市に住み続けたいと思いますか？)



【子どもの有無別】



*「住み続けたい」と「当分の間は住み続けたい」を合せて、30代は約7割が住み続けたいと回答し、20代の回答は約5割であった。

*子どもがいる人の場合は、約8割が住み続けたいと回答し、子どもがいない人の回答は約5割であった。